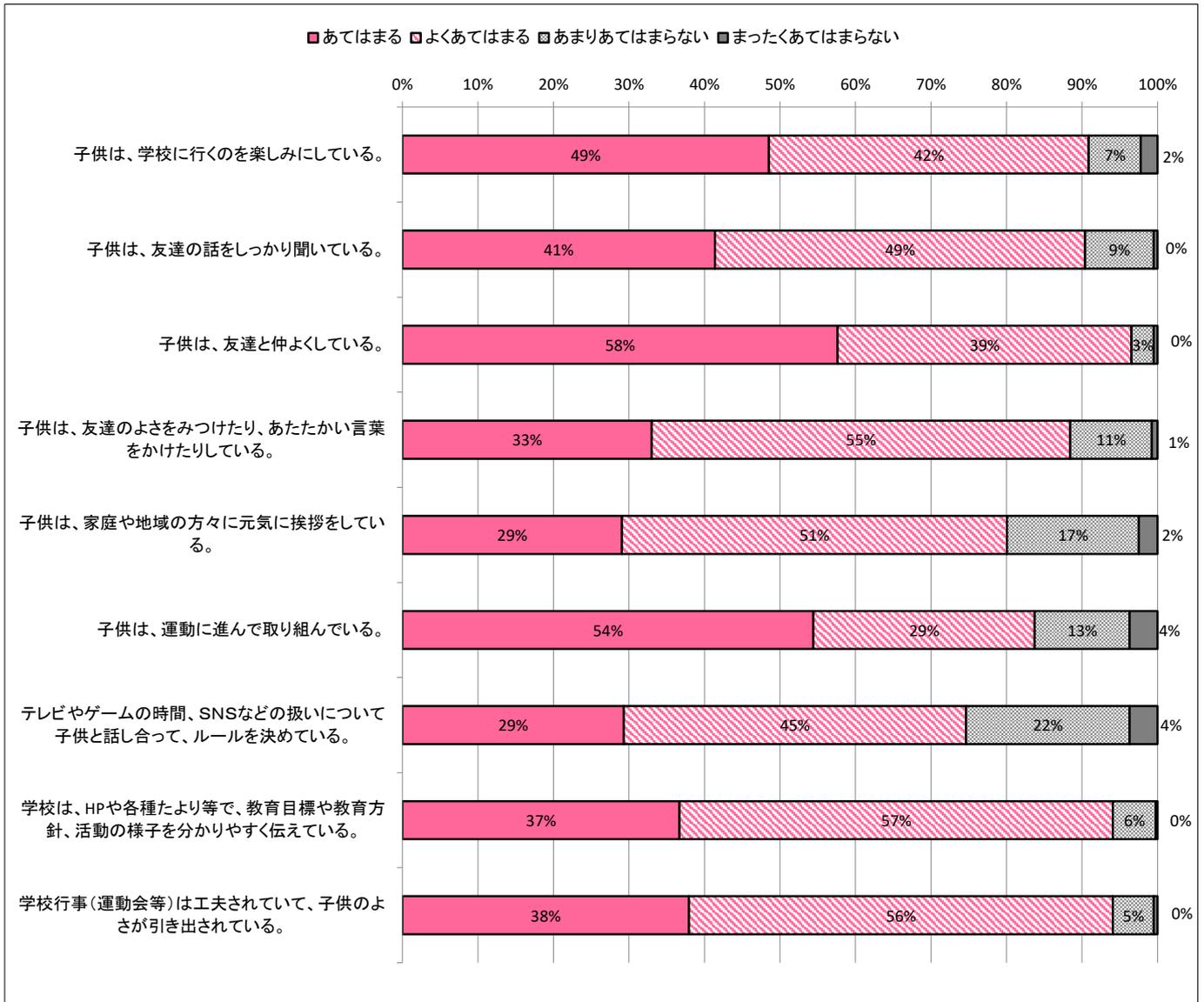


保護者アンケート結果



<保護者アンケートから>

- ・9項目中7項目で80%以上を達成しています。
- ・「友達と仲よくしている」の項目が97%と最も高いです。統合2年目を迎え、友達のことをさらに理解しようと、交友関係を深めたり広げたりしている様子が伺えます。2学期以降も、児童一人一人が安心して学校生活を送れるように、互いを尊重し、助け合いながら学習や活動に取り組み、学校生活をよりよくしようとする態度を育成していきます。
- ・一方で、テレビやゲームの時間、SNSなどの扱いについての項目は、80%を下回りました。SNS等の正しい使い方や家庭のルール等を振り返る機会を設定するなど、保護者の皆様と連携しながら取り組んでいきます。

<児童と保護者アンケート比較から見てきたこと>

- ・児童と保護者のいずれも「テレビやゲーム、SNSについて」の項目は、80%を下回りました。メディア利用時間や時間の使い方について、道徳科や学級活動の時間、保健委員会、学校保健委員会の取組を通して、メディアとの関わり方や自律的な生活習慣等を考える機会の充実に努めていきます。ご家庭におかれましても、この機会に新たなルールを設けてみたり、既存のルールを見直していただいたりするきっかけにいただければ幸いです。発達段階に応じて、児童のご家庭での心身の様子を見ていただき、メディア時間について適切な時間を話し合っ決めていただくなど、ご協力をお願いいたします。
- ・「元気にあいさつをしている」の項目では、児童が89%、保護者の方は80%となり、達成率に差が生じています。この結果は、「挨拶しているのになかなか気付いてもらえない」という児童の気持ちや「もっと元気に挨拶してほしい」という保護者の方々の願いが数字の違いとなって表れたと思われる。児童が挨拶の大切さや心地よさを実感し、自信をもって元気に挨拶できるよう、児童会のあいさつ運動の取組について工夫を重ねながら継続していきます。